

# リオンの風

## 第105期 中間期 事業報告書

2025.4.1-2025.9.30

### CONTENTS

トップインタビュー	1
<b>特集1</b> ロッセル塩結晶から始まった当社の原点	5
<b>特集2</b> 粘度計(ビスコメータ)の歩み ～研究用途から産業界へ広がる価値～	7
<b>特集3</b> 新任社外取締役インタビュー	9
トピックス	10
製品別の概況	12
会社案内	13
株主メモ	14
残したい“日本の音風景100選”	裏表紙

残したい“日本の音風景100選”

◀ 音の情景は裏表紙をご覧ください。



代表取締役社長  
かとうこうき  
**加藤 公規**

## 売上高・利益ともに過去最高を更新。 未来を見据えた戦略的投資で 持続的な成長を目指します。

### Q1 | 上期の業績と通期の見通しについて、 お聞かせください。

上期は各事業で前年を上回る売上高を達成し、全体の利益は過去最高を更新しました。中でも、好調な微粒子計測器事業の背景には、生成AIやデータセンターの需要拡大に伴い、世界的に半導体関連の設備投資が継続していることが挙げられます。当社の液中微

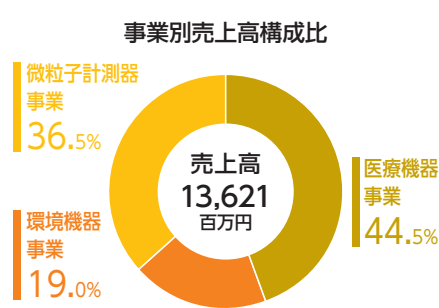
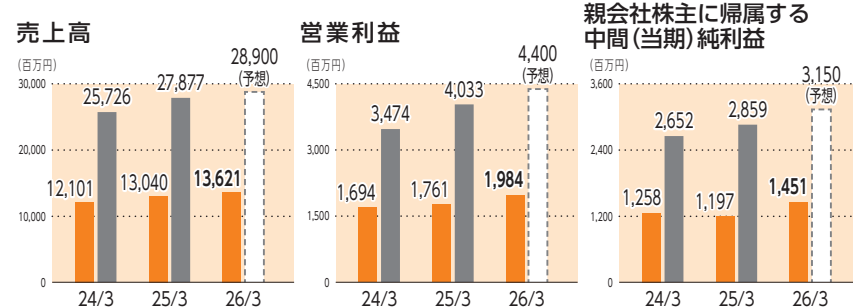
粒子計は、半導体製造工程の洗浄に使用される薬液等の品質管理に広く活用されており、売上高の拡大に大きく貢献しています。しかしながらその一方で、将来に向けた投資を行ったことで、当事業の利益は前年同期よりも低い水準となりました。微粒子計は、半導体の微細化に伴い、より小さな粒子検出へのニーズが高まっています。そのニーズにお応えすべく、日々試行錯誤を重ねながら研究・開発に取り組んでいます。そのため、半導体市場の伸長に連動して売上高は今後も緩やかに伸びていくものと見込んでいますが、これに連動する形で生産体制のさらなる強化や研究・開発に関するコストも継続的に増加していくものと予想しています。

次に、医療機器事業については、今年6月に発売した補聴器の新製品「リオネットプラス」シリーズの販売が好調です。この冬には、同シリーズに小型の充電式耳あな型オーダーメイド補聴器を追加発売し、製品ラインナップを強化することで、売上高の拡大を目指します。

最後に、環境機器事業では、国内において騒音計や振動計の更新が順調に進んだほか、鉄道などインフラ分野の設備投資も回復傾向にあります。引き続き新製品の販売促進を図るとともに、業務効率化によって安定した利益を生み出せる体質づくりを進めてまいります。

全事業の状況を簡単にご説明しましたが、通期も事業全体で増収増益を見込んでいます。

### 連結財務ハイライト



### ■ 中間期業績サマリー

	(百万円)
純資産	32,564
総資産	39,665
営業キャッシュ・フロー	2,246
投資キャッシュ・フロー	△380
財務キャッシュ・フロー	△520

### ■ 通期業績予想

	(百万円)
売上高	13,621
営業利益	1,984
経常利益	2,031
親会社株主に帰属する中間純利益	1,451
売上高	28,900
営業利益	4,400
経常利益	4,400
親会社株主に帰属する当期純利益	3,150

**Q2** 社長に就任されたこの半年間で、新たに得た視点や気づきを教えてください。

この半年間、当社製品の販売代理店や業界団体の集まりなどを通じて、関係者の皆さまとお話する機会が増え、改めて、私たちの事業が多くの方々に支えられて成り立っていることを実感しました。また、そのような場において活躍する当社の社員と対話する中で、一人ひとりのエネルギーや主体性を感じる場面が多くあり、日々の思いや工夫を知ることができたのは大きな収穫でした。会社の活性化には、こうした現場の力を引き出し、組織全体で支えていくことが不可欠だと強く感じています。

また、限られた時間の中でも、意識的に社内の現場に足を運ぶよう心がけています。社長という立場上、現場で業務を共にする場面はそれほど多くはありませんので、社員の働く姿を直接見たり、ちょっとした会話を交わしたりすることで、現場の空気や課題を肌で感じられるよう努めています。「社長は遠い存在」とならないよう、日々のコミュニケーションや行動を通じて、社員と共に歩む姿勢を大切にしていきたいと考えています。

**Q3** 6月の会社創立81周年記念式典後に社員向けイベント(展示会・同郷会)を開催しました。開催の目的や印象に残った出来事を教えてください。

今回のイベントは、“自分たちの会社をもっと知る”、そして部署を越えて“お互いを知る”ことを通じて、社内のコミュニケーションを深めたいという思いで実施しました。当社には三つの事業部門があります。同じ部門のなかでは活発なコミュニケーションが行われていても、となりの部門のこととなると「誰が何をしているのか」が見えづらくなることがあります。だからこそ、まずは人を知り、触れ合うことが重要です。そうした関係性が築かれることで、日々の業務が円滑になるだけでなく、新たな視点が生まれ、個人の成長にもつながると感じています。

「展示会」では、各部門が工夫を凝らした製品の紹介や実演に加え、補聴器の聞こえ体験なども行われ、ほかの部門の社員にとっては普段はなかなか目にすることのない技術に触れる貴重な機会となりました。一方、「同郷会」では、社員の出身地を全国のいくつかのエリアに分けて、それぞれの地域の特産物や地酒を集めて懇親を深めるというとてもユニークな取り組み

が行われました。笑顔が広がる和やかな雰囲気の中で、普段は仕事上の接点が少ない社員同士が地元的话题をきっかけに交流を深めている様子が印象的でした。

このようなイベントは規模の大小にかかわらず、社員同士の距離を縮める大切な機会だと感じています。社内のあちこちから「今後も続けてほしい」という声が上がっており、これからも積極的に様々なイベントを開催していきたいと考えています。

**Q4** AIなどの技術革新に対するお考えと今後の活用についてお聞かせください。

最近、AIに関する話題を見かけない日はないほど、私たちの生活に身近な存在になりつつあると感じていますが、その本質的な価値や影響についてはまだ見極めが必要です。一方、これからの社会では、人口減少に伴い、AIを活用した業務の効率化や自動化がますます重要なテーマとなるでしょう。

このような課題に対して、当社は長年培ってきた音や振動に関する知見とノウハウという強みを持っています。例えば、当社の音響・振



活気に満ちた展示会の様子

動計測器が使用される様々な現場では、騒音下での良否判定や異常音検知などの判断を熟練者の経験に頼っている状況があります。こうした現場に対し、AIが的確に判断する仕組みを構築することで、省力化・省人化といった課題への対応が可能になると見込んでいます。製品単体ではなく、システムと組み合わせた包括的なサービスの提供をさらに充実させることで、従来の測定とは異なる新しい品質管理の提案にもつながっていききたいと考えています。

今後も中長期的な成長と企業価値の向上に向けて取り組んでまいりますので、株主の皆さまには、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ロッシエル塩結晶から始まった当社の原点

当社は企業理念に「社会貢献」を掲げ、さまざまな課題解決に取り組んできました。現在は医療・環境・産業など幅広い分野で製品やサービスを提供していますが、その礎を築いたのは、創業期の激動の時代を切り拓いた挑戦の精神です。今回の特集では、時代背景を紐解きながら、当社の原点に迫ります。

### ◆ 創業時はロッシエル塩の結晶づくり

1940年代初頭、海外では音を電気に変える性質を持つロッシエル塩結晶が注目され、その結晶を使った水中聴音器が潜水艦や魚雷の探知のために開発されていました。それを受け、当社の設立母体である小林理学研究所でもロッシエル塩結晶の研究を進めていましたが、研究施設ゆえ大量生産は困難でした。その課題を解決するため、1944年に当社が創業し、ロッシエル塩結晶やその結晶を使った水中受音器(マイクロホン)の製造を開始しました。



ロッシエル塩の結晶づくりの様子

### ロッシエル塩結晶の特徴

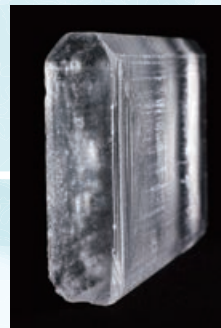
ロッシエル塩結晶は、力や振動を加えると電気を生じ、逆に電気を加えると振動する不思議な物質で、圧電素子と呼ばれるものの一つです。この性質により、音(振動)を電気信号に変換し、また電気信号で音(振動)を発生させることができるため、マイクロホンやイヤホンに利用されていました。

入力	出力	用途
音(振動)→ロッシエル塩結晶	電圧が発生	マイクロホンとして機能(音を電気に変換)
電圧→ロッシエル塩結晶	音(振動)が発生	イヤホンとして機能(電気を音に変換)

### ◆ 軍需から民需へ、 ロッシエル塩結晶が切り拓いた新たな可能性

戦後の混乱期、深刻な経済不安と急激な物価上昇という厳しい状況のなか、当社は生き残りをかけて議論を重ねました。その中で突破口となったのが、ロッシエル塩結晶の研究で得られた知識や技術を応用した音響機器の開発です。当時、この分野はほとんど未開拓であり、ロッシエル塩結晶の工業化には大きな可能性が秘められていました。

可能性を秘めていた  
ロッシエル塩結晶  
撮影：赤羽佑樹

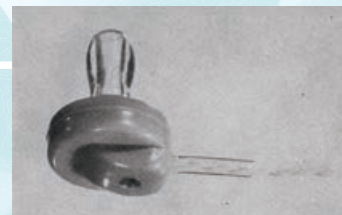


### ◆ 圧電振動子開発の挑戦

まず、当社はロッシエル塩結晶を用いた圧電振動子の研究開発を行いました。しかし、この素材は高温多湿に弱く、日本の気候では安定性が課題でした。そこで、一年を通じて性能を維持するために試行錯誤を重ね、ついに防湿技術を確立させました。その後、この振動子を活用したピックアップやイヤホンの開発にも取り組み、製品の幅を広げていきました。



レコード用ピックアップ



耳せん式超小型クリスタルイヤホン

### ◆ 創業期の挑戦と情熱、今に続く原点

創業時、当社が立ち向かったのは技術的な困難だけではありません。そこには、社会をより良くしたいという強い想いがありました。この挑戦は、音響機器から補聴器、さらには医療・環境分野へと事業を広げる礎となりました。時代とともに社会のニーズは変わりますが、創業期に培われた「困難に挑む精神」と「技術への情熱」は、今もなお脈々と受け継がれています。



今年、創立81周年を記念して制作されたロッシエル塩結晶を象った特別な社章

ロングセラーのヒット商品

# 粘度計(ビスコメータ)の歩み

～研究用途から産業界へ広がる価値～

当社製品の中でも、ユニークな存在である粘度計。重油や塗料、接着剤といった工業製品から、マヨネーズやはちみつなどの食品まで、幅広い分野で品質管理に利用されています。1960年代初頭に開発されて以来、時代のニーズに応じた改良を重ね、60年以上にわたり販売が継続されている隠れたロングセラー。その長寿の秘密に迫ります。



ビスコメータ  
VT-06

## ものづくりに欠かせない“粘度”とは？

粘度とは、液体の“ドロドロ度”を表す性質です。例えば、水は粘度が低くさらさらと流れやすく、蜂蜜は粘度が高くゆっくり流れます。また、液体は温度が高いほど流れやすく、低いほど流れにくくなります。粘度は、食べ物の口当たりや薬・化粧品の使いやすさなどに影響し、品質や性能を左右する重要な要素です。

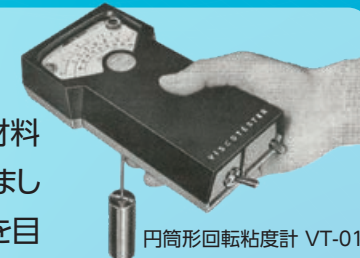


## 音響材料研究から生まれた振動式粘度計

1950年代、当社はスピーカやマイク部品に使う音響材料(フィルム、紙、繊維など)の研究を行っていました。音質向上には材質特性の把握が欠かせません。しかし、研究を深める中で当社が求める測定器はありませんでした。そこで、音・振動の知見を活かした振動式粘度計を自ら開発し、製品化へ。一定の評価を得て、繊維、化学、薬品業界にも納入されましたが、高度な操作技術が必要という課題も残りました。

## 顧客の要望に応じて新たな粘度計を開発

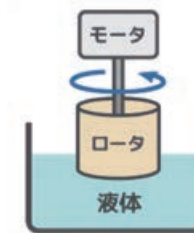
安価で操作が容易な測定器を求める声に応えるため、当社は音響材料の研究で培った知見と経験を活かし、新たな粘度計の開発に着手しました。振動式粘度計の課題を踏まえ、よりシンプルで使いやすい構造を目指して試行錯誤を重ねた結果、1960年に円筒形回転粘度計が誕生しました。これにより、現場での簡易測定と品質管理の効率化を可能にしました。



円筒形回転粘度計 VT-01

## 使いやすさを追求した円筒形回転粘度計の仕組み

液体中にロータ(回転板)を浸し、回転させます。その動きに対して液体がどれだけ抵抗するか——つまり粘性抵抗(トルク)を測定することで、粘度を求めることができます。この方式は仕組みがシンプルで使いやすく、安定した測定ができるため、工業製品から食品、化粧品まで、多様な分野で広く活用されています。



## 時代を超えて受け継ぐ測定への思い

好評を博した粘度計も、時代の流れによりデジタル化を余儀なくされました。全面リニューアルに際しては、異なる仕組みでも従来機と同じ数値を示すために、条件を変えながら調整を重ねました。また、数値表示にバーグラフを併用し、アナログ感覚を再現。使いやすさと安定した測定を実現する設計思想は、今も変わらず受け継がれています。このこだわりこそが、60年以上にわたり選ばれ続ける理由です。



アナログからデジタルへ

数値表示の上のバーグラフでアナログ感覚を再現

# 新任社外取締役インタビュー

2025年6月25日開催の株主総会にて、新たに社外取締役が選任されました。  
これまでの経歴と今後の抱負について語っていただきました。



社外取締役  
えじましんや  
江島 真也

## Q) ご自身の経歴についてお聞かせください。

1983年から2018年まで一貫して日本の政府開発援助(ODA)に携わりました。特に東南アジアと南アジアにおけるインフラ開発支援に従事し、最後の所属は国際協力機構(JICA)でした。その36年間にタイ、フィリピン、スリランカ、そしてインドでの勤務を経験し、開発途上国の成長と課題を目に焼き付けてきました。

2019年から2024年にかけては民間企業の駐在員として再びインドで勤務しました。日本とは異なる文化的背景や生活環境、気候条件などによって、インドを苦手とする方も多い印象を受けますが、力強い経済成長、多様な民族と言語の共存、広大な国土など、魅力的な要素が数多くあります。また、インドの人たち

は日本に対する親しみをもち合わせており、広島・長崎の原爆の日にインドの国会で毎年行われる追悼には、日本人として強い感謝の念を抱かざるをえません。開発途上国での勤務、とりわけ通算9年間のインド生活は人生の糧となりました。

## Q) ご経験を踏まえて、社外取締役としての抱負をお聞かせください。

現在、インドは製造業振興に注力しており、優秀なITエンジニアの輩出だけでなくモノづくりでも世界の仲間入りを目指して積極的に国内外の企業を誘致しています。そのような中で、日本企業のインド進出に私としても関わっていければ光栄です。インドでは、製造業の中でも半導体工場の誘致に力を入れていることや、深刻化するインフラ整備時の騒音問題への対応など、リオンの測定器が活躍する場面が広がっています。インドに限らず開発途上国はどこも似たような状況にあり、そうした実情に即した戦略を立て、機を逃さず取り組むことで貢献したいと考えます。これはリオンの理念である「すべての行動を通して人へ社会へ世界へ貢献する」に直結することでもあり、大いなる意義を感じています。



インド発展に向けた固い握手

## トピックス Topics

### 1 TOPICS “自分らしさをプラスする” リオネット補聴器から「リオネットプラス」を新発売

豊富なカラーとオプションで使い心地を向上させた補聴器「リオネットプラス」を6月2日に発売しました。「リオネットプラス」は一人ひとりの生活スタイルに合わせて、かたちや色が選べる補聴器です。4グレードそれぞれに耳あな型オーダーメイド補聴器4機種と耳かけ型補聴器1機種の計20機種をラインアップします。カラーバリエーションは、耳あな型オーダーメイド補聴器が最大18通り、耳かけ型補聴器は9色を展開し、さらに、さまざまなオプションにより“自分専用”の補聴器にカスタマイズが可能です。また、原音に忠実な音作りを目指して開発されたデジタル信号処理技術「リオネットエンジン」によって、スムーズで自然な聞こえを実現します。



「リオネットプラス」の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.rionet.jp/rionetplus/>



### 2 TOPICS 「株主手帳」2025年11月号に当社が紹介されました

10月17日発売の株式投資情報誌「株主手帳」2025年11月号に、当社代表取締役社長 加藤公規のインタビュー記事が掲載されました。取材をもとに、事業の背景や発展の経緯、そして今後の成長戦略について、4ページにわたって分かりやすくまとめていただきました。当社のこれまでの歩みと、今後の展望をご紹介します内容となっておりますので、ぜひ一読いただけますと幸いです。



「株主手帳」は全国の書店やオンラインでもご購入いただけます

株主手帳とは、1952年に戦後の経済復興期において、個人投資家向けに信頼性の高い株式情報を提供することを目的として創刊されました。主に企業の経営者インタビューや特集を通じて、中堅企業の魅力や成長戦略を深掘りする、投資家向けの月刊情報誌です。

掲載記事(電子版)はこちらからご覧いただけます。

<https://www.kabutecho.com/interview/3事業のポートフォリオ経営で業績好調-「社会員」>

※全文の閲覧には会員登録が必要です。



## ～“聞こえの匠” 補聴器製造の舞台裏～ 株主様向けリオネット補聴器工場見学会のご案内

このたび、株主様のご要望が多かったリオネット補聴器の工場見学会を以下の日程で行います。見学会では、補聴器が完成するまでの流れを間近でご覧いただけます。また、熟練技術者による丁寧な手作業や、製造現場ならではのこだわり・工夫もあわせてご紹介いたしますので、是非ともご参加いただけますと幸いです。

※リオネット補聴器工場見学会のご参加は、単元株主(100株以上を保有)の方に限定しております。

日時	①2026年2月12日(木) 14時～16時 ②2026年2月19日(木) 14時～16時
会場	リオネット株式会社(東京都八王子市兵衛2-22-2) ※リオネット株式会社のグループ会社 最寄駅はJR横浜線 八王子みなみ野駅です。
募集人数	各回15名程(応募多数の場合は抽選になります)
内容	リオネット補聴器ができるまでの製造工程をご紹介 質疑応答
応募方法	下記アンケートサイト内の設問にて「参加を希望します」を選択いただき、ご希望の日程をお選びください。
申込締切	<b>2026年1月15日(木)</b> ※当選された方には、2026年1月下旬を目途にご案内をお送りいたします。



アンケートサイトはこちら

<https://forms.office.com/r/sZawThLMnc>

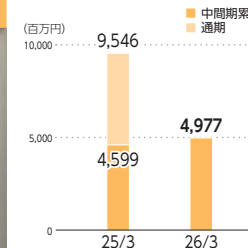


▶お問い合わせ先 リオン株式会社「株主様向けリオネット補聴器工場見学会」担当  
電話番号 042-359-7830(土日・祝日を除く9時～17時)

## 第105期中間期・製品別の概況

First six months of the 105th period by product overview

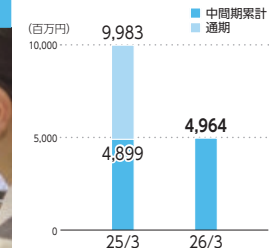
### 微粒子計測器



微粒子計測器は空気や液体の中に浮遊する微粒子を計測しています。高い清浄度管理が求められる、半導体などの精密機械や医薬品、食品の製造現場では、微粒子計測器による微粒子管理が行われており、ユーザーからの高い信頼を得ています。

上期は、半導体関連市場において設備の新設や増強等の投資が継続しており、半導体製造工場で使用される液中微粒子計測器の販売が好調に推移した結果、前年同期を上回る過去最高の売上高となりました。

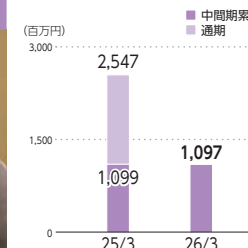
### 補聴器



「リオネット補聴器」のブランド名で親しまれるリオンの補聴器は、高齢化の進展に伴う難聴者層の増加などを背景に、潜在成長力の高い補聴器市場において、お客様のニーズに寄り添った先進技術で業界をリードしています。

上期の業績は、継続する物価高騰により個人消費の抑制などの影響が見られたものの、新製品であるリオネットプラスの販売が堅調に推移したことなどにより、前年同期と比べ増収となりました。

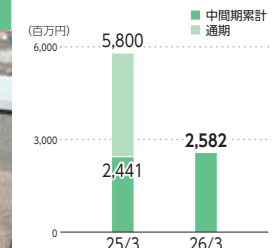
### 医用検査機器



医療の考え方が、治療から予防、さらに健康医学へと広がるなか、「検査」の役割はますます高まり、機器の多様化が進んでいます。大学病院の臨床検査や、人間ドックの聴力検査など、医用検査機器は多くの医療現場のニーズに応えています。

上期については、耳鼻咽喉科をはじめとした医療機関における機器更新が低調に推移したことなどから、前年同期の売上高には及びませんでした。

### 音響・振動計測器



騒音計、振動計、地震計など、環境行政や産業の多彩なニーズにきめ細かく応える製品を提供し、国内外の環境・産業計測市場を支えています。

上期の業績は、海外市場において欧州及び中国の販売が低調に推移したものの、国内市場においては騒音計や振動計の機器更新が堅調に推移したことに加え、鉄道などインフラ関連市場での設備投資の需要が回復傾向にあることなどにより、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

# 会社案内 (2025年9月30日現在)

Corporate Data

## 会社概要

商号 …… リオン株式会社  
 本社 …… 東京都国分寺市東元町三丁目20番41号  
 創立 …… 1944年6月21日  
 資本金 …… 20億7,925万円  
 従業員数 …… 連結1,009名、単体504名(2025年3月31日現在)  
 事業内容 …… ○ 微粒子計測器 ・ 微粒子計測器  
                   ○ 医療機器       ・ 補聴器  
                                   ・ 医用検査機器  
                   ○ 環境機器       ・ 音響・振動計測器

## 株式情報

発行可能株式総数 …… 32,000,000株  
 発行済株式総数 …… 12,347,700株  
 総株主数 …… 7,030名

## 大株主

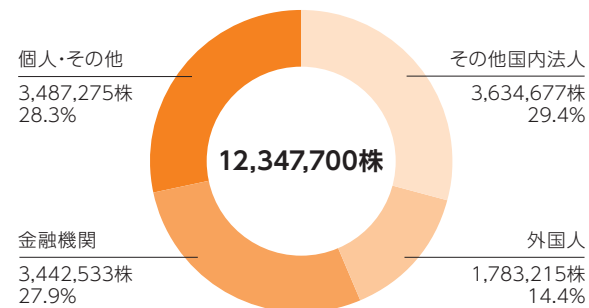
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
一般財団法人小林理学研究所	3,130,700	25.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,273,600	10.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,099,500	8.92
リオン取引先持株会	492,900	4.00
株式会社みずほ銀行	210,000	1.70
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	169,700	1.38
リオン従業員持株会	166,000	1.35
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	151,700	1.23
日本生命保険相互会社	150,000	1.22
RE FUND 107-CLIENT AC	133,304	1.08

(注) 持株比率は、自己株式17,382株を控除して計算しております。

## 取締役および監査役

代表取締役社長 …… 加藤 公規  
 代表取締役副社長 …… 岩橋 清勝  
 取締役会長 …… 清水 健一  
 取締役 …… 篠崎 利之  
 社外取締役(独立役員) …… 濱田 喜久子  
 社外取締役(独立役員) …… 上田 麻理  
 社外取締役(独立役員) …… 高橋 和伸  
 社外取締役(独立役員) …… 江島 真也  
 常勤監査役 …… 中野渡 誠  
 社外監査役(独立役員) …… 佐久間 善弘  
 社外監査役(独立役員) …… 寺町 東子

## 所有者別株式分布状況(持株数)



# 株主メモ

Stock Information

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月下旬  
**基準日** 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。  
**住所変更、单元未満株式の買取等のお申し出先について** 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
**未払配当金の支払について** 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 株主様アンケート実施のお知らせ

株主の皆さまのご意見を今後の経営およびIR活動に役立てていくため、昨年に引き続きWEBにてアンケートを実施いたします。ご回答方法を参照のうえ、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。ご回答いただいた株主様に2月下旬を目途に1,000円分の図書カードを贈呈いたします。

※アンケートは、単元株主の方に限定しております。

### ● 回答方法

下記のアンケートサイトにアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。同封の配当金領収証の右上に記載されている株主番号(9桁)をご入力いただく必要がありますので、アンケートの回答が終わるまではお捨てにならないようお願いいたします。

アンケートサイトはこちらです。  
<https://forms.office.com/r/sZawThLMnc>



● 締切日：2026年1月15日(木)

## 株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

### ジェフグルメカード(食事券)

100株以上 ▶	500円分
500株以上 ▶	1,500円分
1,000株以上 ▶	3,000円分
5,000株以上 ▶	5,000円分
10,000株以上 ▶	10,000円分

【追加】100株以上かつ3年以上継続保有\* ▶ 1,000円分

\*同一の株主番号で、毎年3月末と9月末の株主名簿に7回以上連続で記録された株主様を3年以上継続保有とみなします。

### リオネット補聴器購入割引券

100株以上	※ メーカー希望小売価格の10%割引 (片耳購入の場合は1台分) (両耳同時購入の場合は2台分)
	有効期間：1年間

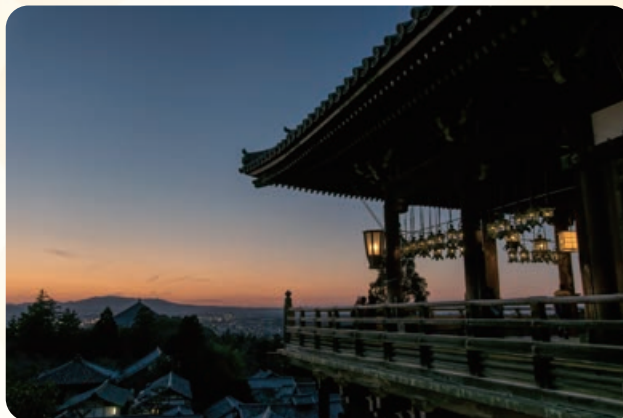


表紙の写真

一〇〇選

音風景

残  
し  
た  
い  
日  
本  
の



夕暮れ時に東大寺・二月堂から望む古都奈良。歴史を語る鐘の音が心に響く。

## 奈良県／春日野の鹿と諸寺の鐘

春日大社の神域に広がる春日野は、古来より神聖な地として守られ、悠久の時を刻んできました。ここでは鹿がゆったりと歩き、観光客と触れ合う姿は奈良を代表する光景です。鹿は春日大社の神の使いとされ、1300年もの長きにわたり人々に大切にされてきました。

春日野の一角、飛火野<sup>とびひの</sup>で奏でられる鹿寄せホルン。その澄んだ音色に誘われ、鹿たちが一斉に集まる朝の風景は、この地ならではの心温まる風物詩です。周囲には古刹が静かに佇み、夕暮れには鐘の音がやさしく響き、古都全体を穏やかな空気で見包み込みます。やがて夜が訪れると、東大寺の深い鐘声<sup>かね</sup>が静寂に溶け込み、一日をゆるやかに締めくくります。歴史と自然、音が織りなす春日野は、訪れる人々に深い安らぎと古都の趣を伝え、心に忘れがたい余韻を残します。

### 「残したい“日本の音風景100選”」

残したい“日本の音風景100選”とは、1996年に環境庁(現・環境省)が選定した「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残したいと願う音の聞こえる環境(音風景)」です。この100選には、小鳥のさえずりや海の波音、祭りの掛け声など、自然や人が作り出す様々な音が含まれ、北海道から沖縄まで、地域ごとの音風景が紹介されています。

リオン株式会社 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41  
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 企画部 IR広報課)

<https://www.rion.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

